

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 地域でくらす会	代表者	理事長 井上 徹	法人・ 事業所 の特徴	社会福祉法人としての取り組みとしては、介護をしているご家族に対しての支援を行う為、有償ボランティア「やすらぎ支援員」の養成講座や、介護予防サロン等の認知症予防対策と地域や市民への認知症啓発活動に力を入れている。事業所としては、様々な行事を開催し地域住民へ呼びかけを行い、地域の行事に参加するなどし、地域と協働出来るように努めている。またご本人の馴染みの関係や役割を大切にしながら支援を行い、介護を提供するだけでなく、ご家族や地域・医療など、ご本人を取り巻く様々な関わりが一体となるよう働きかけている。『その人らしくどう生きたいかに立ち返り、関係性こそその人らしさ、ひとりの支援が地域を変える』をモットーに、ご本人らしく住み慣れた自宅や地域で過ごせられるよう支援している。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護 木守舎	管理者	山崎 さおり		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	3人	1人	1人	1人	3人	人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・「出来ていない」項目の人数を減らしていく為に、職員全体の向上を図っていく。「何故」出来ていないのか、出来ないのかを個々で振り返り、日々の実践に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の少人数のチームを作る事で、意見が出易く、振り返り日々の実践に取り組めた。 ・又、得た情報が確実に伝え易く、早い対応に繋がった。 ・職員個々のリスクマネジメントの必要性の意識が乏しい場面がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交代勤務の中で同じレベルの支援が出来ているか、個々で差がある。 ・チームワークは良い。 ・入れ替わりが激しい。 ・プライバシーや拘束についてスタッフ間で意識している度合いが異なっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の気づきノートにハッとしたことや気づいたことをしっかりと記入し、同じ事が起こっていないか検証し、職員全体の情報共有・意識の共有とレベル向上を目指し、改善を図っていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・珈琲の目を定着させ、気軽に事業所に足を運んで頂けるよう努める。 (相談場所・地域の居場所作り) 	<ul style="list-style-type: none"> ・珈琲の日が定まっておらず、開催出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看板が汚れてきて遠くから解かりにくい。 ・外灯もない。 ・家から出ない方にとっては事業所に足を運ぶのは難しい。 ・温かみがあるし清潔。 ・何屋さんか分からないが雰囲気が良い。 ・珈琲の日が出来ているのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・看板は掃除し見やすいようにする。 ・教室を開催する為のチラシを配布し(勉強会、手話教室、作品作り等)事業所を知ってもらうきっかけを作る。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の宣伝の仕方を工夫し、啓発活動にも力を入れていく。(ポスター、のぼり、看板等) ・町内会行事へ参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配食手伝いや運動会、公民館への参加等、出来ている事は啓発活動に繋がった。 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と様々な関わりが出来ている。 ・様々なイベント参加し年々関係性を深めている。 ・挨拶がしっかり出来ている。 ・地域の困りごとがあったら相談受けているのか事例等がないので分からない。 ・ご利用者以外の話を聞かない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事の参加、啓発活動の継続をし、出向く事で、地域の困りごとにも係っていく機会を作る。 ・子供との交流が図れるよう、小学校向けに作品づくりを行い、ご利用者と共に小学校に持参する。
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所として、民生委員の方々と交流を深めていく。(交流会の企画・地域の情報収集) 	<ul style="list-style-type: none"> ・改善計画のエコマップ作り(社会資源の発掘・友人、行きつけの店、関わりのある近所の人等)が達成出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取り不足。 ・エコマップ作りに取り掛かれない。 ・行事に参加するだけでなく、暮らしを支援する事は出来ているのか? 	<ul style="list-style-type: none"> ・友人・行きつけの店・関わりのある近所の人等、ご利用者の周囲を取り巻く地域資源『エコマップ』作りを、より実行しやすくする為、聞き取りや知りえた情報をすぐ記入していけるよう、一冊に分類・整理する。 ・ご利用者とかわりのある人・物等の発掘をし、ご利用者と写真を撮って中学校校区に分類し、一面に貼って把握していく事で、関係性の構築を図り支援のヒントを探っていく。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所が地域に貢献するという事を目標に、一人でも多くの方に事業所を知ってもらう。(地域行事や公民館行事等への積極的参加、意見交換) 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で出た意見等職員に共有出来ていない。(地域の方から出た意見や苦情を共有できていなかった) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の取り組みは今まで通り無理のない範囲で行って貰いたい。 ・地域にはしっかり出向いている。 ・事例検討がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議を職員に回覧できていなかったなので、回覧し内容を理解する。 ・会議に職員が参加し、地域との意見交換を積極的に行えることで、事業所の質を向上出来るヒントを得て運営に関わっていく。 ・事例検討を必要に応じて発表する。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりの防災意識の向上を図る。(定期的な自主訓練の開催) ・地域の安心拠点となる為にも、協力出来る対応を精査する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練への参加や災害時の協力体制について相談できている。 ・定期的に地域と協働して訓練に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画を知らない。 ・備蓄、備品が何処まであるか情報交換を地域と連携出来ればと思う。 ・事業所があると、いざという時に頼りになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画は年度初めに運営推進会議で回覧する。 ・備蓄、備品がどれくらいあるか表にして視覚化し公表する。
----------------------------	---	--	---	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 28 日 (20 : 00 ~20 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)
2.

メンバー 10 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	12 人	1 人	人	13 人

前回の改善計画
限られた時間での関わりの中で、挨拶やその日の体調を伺う以外にも、もう一步踏み込んだ関わりを意識する事が、ご家族とのコミュニケーションが増えるきっかけになり、本人様の支援において、より情報を得ることに繋がるよう努めていく。積極的に会話の機会を持つ事が、何より信頼を得る大切な事だと認識し、本人様の変化、ご家族 (介護者) の変化を汲み取っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族との会話する時間は無いが利用者の不安は話を聞く事で改善されていると思う。情報を共有しながら、利用者のニーズを考えて支援していくことを心がけている。 ・ 表情や行動などに注意し、出来るだけ不安が取り除けるよう様子見ながら声掛けしている。 ・ ご家族と話をする機会がなかなか持てなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	9	2	1	13 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		11	2		13 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	3	8	2		13 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	9	2		13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>朝、送迎時に家族から家での様子や体調の変化を伺い、変わった事があればミーティング等で共有し、その都度、対応している。ご家族とも利用開始から、気になったこと、気づいたことをひとつひとつ伝え、ひとつずつ解決したり、不安を解消している。表情や行動などに注意し、出来るだけ不安を取り除けるよう様子見ながら声掛けしていく事で信頼関係の構築を図っている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>話をする際に言葉遣いが雑になっているのは、意識がうすくなっている為と思う。気を付けているが所々ででてしまうことあり。現場の状況により、気持ちにゆとりが持てておらず寄り添う事が欠けてしまっている。ご家族の方含め、ご利用者の思いを受けとめ、関わり方や通い時様子をよく観察し、その中から必要な支援を見つけていかないといけないと感じる。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・関わりはじめは、余裕のある送迎時間を持つことで、家族も含めたご利用者とのコミュニケーションの場を作り信頼関係の構築を行っていく。 ・会話の中でも、思いを感じ取れるようにし、それを他スタッフに伝えみんなで共有する。 ・基本情報を把握し初回利用連絡表に関わったスタッフは、詳細に記録し情報共有する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 28 日 (20 : 00～20 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 10 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	9 人	4 人	人	13 人

前回の改善計画
<p>ご本人の「したい」を実現していく為には、日々の何気ない会話に対してしっかりと意識する事が、ご本人の望む事に繋がるという事を職員全体で共有していく。ご本人の出来る事を活かして行く為にも、我々が「待つ」という事の大切さを理解し支援していくよう努めていきたい。又、ご家族からも以前の暮らしの様子を聞き、皆がご本人の目標の実現に向かう事が出来るようにしていく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・プランにおいて毎月ミーティングを行い、職員同士、目標や支援について話し合いを行い、より良い支援が出来る様、必要な支援を明確にし、ミーティングに添った関わりを持つようにしている。 ・職員が共有できていないことや現場の状況により実施できていなかったりすることがある。共有し合う為、伝え方に工夫が必要と思う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		5	6	2	13 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		8	4	1	13 人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		4	8	1	13 人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	9	2	1	13 人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>自立支援の観点から、ご本人のできることを阻害しないよう心掛けている。好きな事や得意な事を考え、自信を持って生活していただけるよう支援している。他職種を含めミーティングの内容を含め回覧出来るようにしている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>職員が共有できていないことや現場の状況により「～したい」の実現が実施できていない。共有し合う為、伝え方に工夫が必要と思う。発表の場、会議、朝会などを利用し、詳しく伝えられる場を設けてみてはどうか。業務に追われ、日々の関わりが単調になっている。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・サービス計画書の支援計画を把握し、それを元に意識して関わり、日々のかかわりの中で気づいたことは、支援経過に記載する。 ・ミーティングで計画をたて実施し、その結果を振り返り記載し、次回へ活かす。 ・支援計画の（～したい）という当面の目標を朝礼で伝えていくことによって、職員が同じ目標に向かって支援できるようになり、実現しやすくなる。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 10 日 (18 : 15～21 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	10 人	2 人	人	13 人

前回の改善計画
<p>情報を収集する上で、各スタッフが意識して日々の関わりをしていく。ご本人からだけではなく、ご家族ともしっかりとコミュニケーションを図り以前の暮らしの様子を聞いていく機会を作る。本人らしさとは何なのか理解し、その時々で必要な事を把握していく。以前の暮らしを把握し、現在で出来る事・支援が必要な事を明確にしていく事で、ご本人にとって充実した生活の継続につなげる。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の家族と接していない事が多く、家族と会っても送迎の際、僅かな時間でその日にあった事など話をするがそれで終える。 ・ご本人の体調や気持ちの変化等、スタッフ間で共有している。 ・本人らしい生活をしていく上で、関わり方がそれぞれ一人一人にあったものができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?			8	5	13 人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	11			13 人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		7	6		13 人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	9			13 人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	9	2	1	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>ご利用様が不安になっている時など親身になって考え、不安等をうけとめている。バイタルや体調の変化に気づいた時は、その都度その日のリーダーや看護師に報告相談し、その都度対応している。(皆が共有できるバイタル一覧表がある)表情や様子を見て横になる時間を設けたり、また発熱時などすぐ家族へ連絡をとり、受診をうながしている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>利用者のご家族と接していない事が多く、ご家族と会っても送迎の際、僅かな時間でその日にあった事など話はするがそれで終えてしまう事がある。会議、ミーティングでご利用者について、深く話合う事は出来ているが、担当のご利用者以外はできていない。ご本人の状態により、支援の仕方、関わり方が本当にそのやり方でよいか不安なため、本当の気持ちに気づけていないところがある。特に、言葉にならない方の想いの理解ができていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・本人らしさとは何か理解し支援していくためにも、日々の会話の中で知りえた以前の暮らし、思い等を御利用者毎の『暮らしまとめシート』に記入していく。書き出しやすく見やすいように、一括にファイリングする。月 2 回行うミーティングで、支援に繋げる。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 10 日 (18 : 15~21 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2 人	7 人	4 人	13 人

前回の改善計画
<p>近隣の方に合わせて挨拶を交わす程度で終わってしまっている、より積極的に交流を深めていくように取り組んでいきたい。事業所だけの支援にならないように、ご本人別にエコマップを作成し、人間関係の把握や社会資源を知っていく機会を作る。</p> <p>事業所として、民生委員の方々と交流を深めていく。(交流会の企画・地域の情報収集)</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・本人の地域での暮らしを知らない。(聞きとり不足) ・エコマップ作成に取りかかれておらず、関係図が分からない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		3	8	2	13 人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		10	1	2	13 人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5	6	2	13 人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			8	5	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>民生委員の方々との交流(事業所として)や、公民館活動での配食サービスの手伝いを行ったり、地域のコーラス部の方のミニコンサートがあり、地域の方とのコミュニケーション作りや情報収集に心掛けている。自宅訪問時、ご家族の方とあいさつをし、会話することで思いを知り、ご本人の支援につなげていくようにしている。以前から関わっておられる有償ボランティア(やすらぎ支援員・まちなか支え隊)の方と連携して支援しているご利用者がいる。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>本人のこれまでの生活スタイル、人間関係の理解が充分でない。表面上の人間関係は知っており関係づくりをしているが、以前の間関係は聞くことができず、ご本人宅と事業所の往復になりがちである。一部の方は理解できているが、全員まだ聞きとりができていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>H28 年度改善計画のエコマップ作り (社会資源の発掘・友人、行きつけの店、関わりのある近所の人等) が達成できていない。より実現しやすく前頁と同様、聞き取りや知りえた情報をすぐ記入しやすくするため、『暮らしまとめシート』と共に各ご利用者の『エコマップ』をファイリングする。ご本人を取り巻く暮らしを把握することで、関係性の継続に努めていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 10 日 (18 : 15～21 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	5 人	4 人	3 人	13 人

前回の改善計画
事業所のある地域の社会資源を把握する事はもちろんであるが、ご本人ごとの地域の社会資源を一つでも多く知っていく。そのためにも、より多くの地域行事へ参加して積極的に関わる機会を作っていく。ご家族が関わりの機会を作る事が難しい場合や独居の方は、活動の支援や関わりの支援と同時に地域との関係性を深めていくように努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の限られた場所(公民館など)しか行く事が出来ず、社会資源を知る機会がなかった。 ・個々に合わせて柔軟に支援していると思う。 ・以前に比べて地域の方との関わりが増えてきている。 ・利用者様を日々観察することで、表情や様子からその日の体調が見られ、また変化等もすぐに分かり、他の職員に報連相が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		6	5	2	13 人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?		3	8	2	13 人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3	10			13 人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	9	2		13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>ご利用者を日々観察することで、表情や様子からその日の体調が見られ、また変化等もすぐに分かり、他の職員に報連相が出来ている。ご利用者の地域の行事予定表を手に入れる等にして、参加のきっかけになるような行事を把握し参加出来るように努めている。地域のボランティアの受入れをし、知人に会えることがある。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>ご利用者全員を地域との関わりのある行事への参加は難しく、毎年同じメンバーの利用者が参加している様に思う。それぞれのご利用者の地域行事がどうなっているのか全ては分からず、参加されているのかどうか把握できていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>地域資源の把握として、ご利用者を中学校校区に分け写真を活用。鳥取市の地図を拡大コピーし、ご利用者と撮ったかかわりのある地域資源の写真を貼り分かりやすくする。(写真を撮らせてもらう為にも、関係性を再構築したり、キーマンになり得る資源の発掘も必要)</p> <p>ご利用者と共に作成することで、コミュニケーションの場や活動性も高めていく事も出来る。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 10 日 (18 : 15～21 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	3 人	7 人	3 人	13 人

前回の改善計画
<p>珈琲の日を定着させ、気軽に事業所に足を運んでいただけるよう努める。(相談場所・地域の居場所作り) 行事の宣伝の仕方を工夫し、啓発活動にも力を入れていく。(ポスター・のぼり・看板等) 町内会行事へ参加する。</p> <p>職員一人ひとりの防災意識の向上を図る。(定期的な自主訓練の開催) 地域の安心拠点となる為にも、協力出来る対応を精査する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・配食手伝いや運動会、公民館への参加等出来ていることは啓発活動につながるため、継続していく。防災活動も。 ・カフェの日がきちんと定まっておらず開催できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	2	1	2	7	12 人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1		1	10	12 人
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	2	3	1	7	13 人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		3	5	5	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>地域の祭りへの参加を毎年行い、ご利用者、スタッフで取りくみ、地域の方や子どもたちと関わりをもつことができた。地域の防災訓練への参加（災害時の協力体制について相談している）や認知症の啓発活動（認知症地域支援推進員、他の小規模多機能の職員と一緒に公民館等で活動している）</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>訪れてもらえるように、カフェの日を開いたり、事業所をPRしていくことがよいと思うが、カフェの日がきちんと定まっていなかったりと手順や実施方法に問題があり、開催出来なかった。登録外の子どもや高齢者の訪問がない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>教室を開催する為のチラシを配布し（勉強会・手話教室・作品づくり教室等）、事業所を知ってもらうきっかけを作る。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 10 日 (18 : 15～21 : 00)

7. 運営

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4 人	9 人	人	人	13 人

前回の改善計画
<p>少人数のチームを作る事で、スタッフ同士が意見を出し易い雰囲気が作りやすくなり、より一層しっかりとコミュニケーションを図っていく事を目標にしていく。会議等でも自分の意見を伝えていくように努め、目の前のご利用者の支援に取り組む。</p> <p>事業所が地域に貢献するという事を目標に、一人でも多くの方に事業所を知ってもらう。(地域行事や公民館行事への積極的参加、意見交換)</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・少人数のチームを作ることで得た情報が確実に伝えやすく、早い対応につながった。情報も宙に浮くことはなかった。意見も反映しやすくなった。 ・地域行事や配食の手伝いに参加する機会を作り、できるだけ多くのスタッフが参加できるようにしている。参加する中で事業所のことを話すこともできた。 ・まだ一部の職員のみしか地域行事や会議に参加できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	4	7	1	1	13 人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	8	2	1	13 人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	5	4	3	13 人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	2	5	3	12 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>地域の一人暮らしの方への配食づくりの手伝いや、町内会への認知症の啓発活動(南行公民館)、祭りや運動会、一斉清掃等への参加。ボランティアの受入れ(県社協、市、中学校、地域の団体等)。ご利用者の支援方法も、少人数のチームを作り話し合う事で、得た情報が確実に伝えやすく、早い対応につながった。情報も宙に浮くことはなかった。意見も反映しやすくなった。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>以前より地域に出むくことが増えているが、次へつなげていくまでに時間がかかる。運営推進会議に参加や会議録を見ていなかったので、運営に意見や苦情を反映出来ているか知る機会がない。現状に満足しているところがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議を職員に回覧できていなかったなので、回覧し内容を理解する。 ・会議に職員が参加し、地域との意見交換を積極的に行えることで、事業所の質を向上出来るヒントを得て運営に関わっていく。(地域の行事参加や配食サービスの手伝い、掃除等、今後も継続していく。) 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 10 日 (18 : 15～21 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	9 人	2 人	人	12 人

前回の改善計画
ご利用者の起こり得るリスクの予測を、今一度スタッフ全員で話し合い情報を共有していく。また、高齢者に起きやすいリスクについての勉強会を開催し、事業所として質の向上を図っていく。各自、積極的に事業所内外の研修会に参加し、自己研鑽に努めていく、日々の関わりの中で気付きを大切にして、お互いに声を掛け合いチームケアの充実を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・職場内においては毎月の会議で研修や話合いの場が持っている。 ・職員個々の意識(リスクマネジメントの必要性)が乏しい場面もある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	4	7		2	13 人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	4	3	2	13 人
③	地域連絡会に参加していますか 分からない(1)	1		1	10	12 人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		5	7	1	13 人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>職場内においては毎月の会議で研修や話合いの場が持てている。職場外での研修に参加し、報告書を回覧し共有に努め質の向上を図っている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>職員個々の意識(リスクマネジメントの必要性)が乏しい場面もある。気づきの共有(大丈夫だろうと思ってしまっていることがある。本人のできる事、できない事の把握・共有)(思い込み)。何か起きた際、振り返りが甘く具体策が出てこない状況でそのままにしまった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・日々の気づきノートにハッとしたことや気づいたことをしっかりと記入し、集計し振り返りの場を月ごとの会議にて持つ。リスクマネジメントとして、大きな事故につながらない様、検証していく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 10 日 (18 : 15～21 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	13 人	人	人	13 人

前回の改善計画
<p>各ご利用者のリスク、支援が必要な事・必要でない事（残存機能：出来る事）を今一度確認し、スタッフ間で情報を共有する。理解し把握する事で、行動の抑制をしないように取組んでいく。皆が、各ご利用者の気持ちに寄り添った支援を心掛ける事で、ご利用者本意の視点に立ち返り、本人らしさ・望む暮らしの実現に繋げていく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・チームごとに他職種を含め、ミーティングを行っている。月に2度行っており、状況に応じて支援方法についてなど話し合っている。 ・プライバシーや拘束について、スタッフ間で意識している度合いが異なっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	5			13 人
②	虐待は行われていない	11	2			13 人
③	プライバシーが守られている	4	8	1		13 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	6		2	13 人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	8	2		12 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>ご利用者のリスクを考え、行動の抑制にならないかも視野に入れた支援が行えるよう、ミーティングを行い、支援につなげている。スタッフミーティング等で一人一人の方の残存機能に合わせた支援について、話し合っている。職員会議にて朝礼の仕方(個人情報、プライバシー保護)について話し合い改善にむけている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>記録物なども置いてしまったままで、他のことをしてしまうことがあるので、認識が足りないと思う。 (書類等を他者の目につく所に置いてしまう。) ご家族や事業所側の考えが優先してしまう事がある。プライバシーの保護。(毎日の関わりにて慣れてしまっている。当たり前になっていたところがあった。気遣いが気づかなくなり行動が抜けていた)</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・拘束やプライバシーの侵害について日々の支援に疑問を持ったことは、気づきノートに記入しミーティングにて話し合い、うやむやにしない。 ・自分のたてる音、行動に今一度振り返り丁寧に行うことで、人権の尊重にもつながることを理解していく。 	